

建設通信新聞

施工情報

採算、設投が障壁

整備局調査 品質向上に必要

北陸地方整備局は、情報化施工に関するアンケートの結果をまとめた。それによると、回答者の97%以上が公共工事での必要性を感じながらも、採算性や設備投資に対する懸

念を払拭できず、導入を躊躇ちゅうちよしている。同局企画部ではこれらの現状を踏まえて、「北陸ICT（情報通信技術）セミナーなどを通じて、そのメリットや施工技術の周知などに引き続き努めていく」考えだ。

調査は、2013年12月から14年2月までに管内3会場で開いた同セミナーで実施。国土交通省や自治体の発注機関、建設業、建設コンサルタント、測量業、システム関連の企業を対象とした。回答率

は78%（276人中214人）だった。

情報化施工が必要な理由をみると、「品質の向上」「熟練工不足への対応」が大半を占め、「コストの縮減」「安全性の向上」「工期の短縮」が続いている。

導入への課題は、情報化施工の導入実績の有無に分けて質問を設定しているが、いずれも「工事規模が小さく採算が合わない」「機器等の導入費用が高い」「採算が見込める工事規模が分からない」で共通している。このほか、

「かかった費用を積算に計上してもらえない」「機器等が市場に少なく調達が困難である」「社内に情報化施工を熟知している技術者がいない」「一般化・実用化の普及イメージが分らない」との意見もみられた。

TS（トータルステーション）の調達方法は、レンタルと自社保有（購入含む）が二分している。

セミナーでの情報化施工の

理解度は90%を超えている。開催の必要性については「開催した方が良い」が「内容による」を若干上回った。

今後求められる内容として、情報化施工の動向や事例報告、基礎知識のほか、3次元データの作成、機器の導入にかかる概算費用、支援制度などに関する情報提供を挙げている。

【建設ICT】		1. 日経	2. 朝日	3. 毎日	4. 日経
4. 読売	5. 朝日	6. 毎日	7. 日経	8. 朝日	9. 毎日
7. 産経	8. 朝日	9. 毎日	10. 日経	11. 朝日	12. 毎日
10. 中部経済	11. 建設	12. 日経	13. 建設	14. 信濃	15. 日本
13. 建設通信	14. 信濃	15. 日本	16. 建設		
16. 建設					

平成26年5月22日(朝)・夕) P 8